

大会名:

マッチコミッショナー	主 審
宮植 隆行	友政 利貴

日 時	2021 年 6 月 19 日 (土) 18 : 30	試合時間	90分	会場名	愛フィールド梅津寺
天 候	晴れ	ピッチ状態	人工芝	全面良芝	表面
主 審	友政 利貴	副 審 1	仙波 諒平	審判アセッサー	吉野内 浩志
第4審判	武市 涼汰	副 審 2	岡崎 光樹	記録員	中岡 滯志
青 / 青 / 青 /	2	0	前半	1	2
聖カタリナ大学	KICKOFF	2	後半	1	松山大学
白 / 白 / 白 /					

交代 番号	Out時間	シュート			得点	学年	選手名	番号	位置	番号	選手名	学年	得点	シュート			交代 Out時間	番号
		後半	前半	計										計	前半	後半		
	60分				4	平井 龍兵	1	GK	GK	12	武下 真大	2						
					1	岡崎 晋	23	DF	DF	13	小関 義久	2						
					2	羽方 琳貴	5	DF	MF	6	河本 竜弥	3	1			1		77分
	45分				4	藤本 海斗	27	DF	DF	25	東城 健太	1	1	1	1			
	82分				2	池田 成那	26	DF	DF	27	三原 潤	1						74分
					1	大野 哲平	7	DF	MF	28	村上 蒼織	1						74分
					1	上瀧 翔	9	MF	MF	15	藤田 晴貴	3						
	60分	1		1	4	岡崎 友哉	18	MF	MF	7	倉本 卓弥	2						
		1	2	3	2	三好 凱斗	13	MF	MF	10	成瀬 秀真	2	2			2		
		2		2	1	山下 詩音	14	MF	FW	24	岡 航大	1						68分
	45分		2	2	2	松村 海秀	24	FW	FW	9	芝 悠斗	2	1	7	2	5		
					1	竹内 登士郎	20	GK	GK	1	近藤 凱	3						
27					1	尾上 修	25	DF	DF	2	村上 縁	3						
					1	青柳 成鴻	6	MF	DF	3	大木 凌	3						6
23					1	佐々木 越一	15	MF	DF	29	幸田 爽史	1						27
26					1	池原 柁	19	MF	MF	26	加藤 駿介	1						28
18		1		1	1	玉井 斗和	8	FW	FW	4	小山 太三	4						24
24		2		2	1	豊田 湧	10	FW	FW	17	兵頭 人和	2						

警告・退場			監督			監督			警告・退場		
時間	理由	氏名	渡部 誉也			田下 竜太郎			時間	理由	氏名
28	C2	7 大野 哲平	後半	前半	チーム合計	前半	後半				
			7	4	11	シュート	11	3	8		
			1	3	4	G K	2	1	1		
			5	2	7	C K	2	0	2		
			4	5	9	直接FK	6	5	1		
			1	1	2	間接FK	1	1	0		
			0	1	1	(オフサイド)	2	1	1		
			0	0	0	P K	0	0	0		

(注1) オフサイド欄の数字は、間接フリーキック数のうち、オフサイドによるものを表している。

[警告理由] C1:反スポーツ的行為、C2:ラフプレイ、C3:異議、C4:繰り返しの違反、C5:遅延行為、C6:距離不足、C7:無許可入、C8:無許可去

[退場理由] S1:著しく不正なプレイ、S2:乱暴な行為、S3:つば吐き、S4:得点機会阻止(手)、S5:得点機会阻止(他)、S6:暴言、CS:警告2回

時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過 (～:ドリブル、→:グラウンドパス、↑:浮き球パス、S:シュート、H:ヘディング)																	
40分	松山大学	25 東城 健太	6 河本 竜弥	中2	6	直FK	↑	中1	25	H											
63分	聖カタリナ大学	10 豊田 湧	14 山下 詩音	右CK	14	↑	中1	10	H												
69分	聖カタリナ大学	14 山下 詩音		中2	相手15	～	14	カット	左足S												
83分	松山大学	9 芝 悠斗	4 小山 太三	左2	4	～	→	中2	9	右足S											
PK線の経過				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

備考

監督コメント (監督不在→コーチ、主将)	聖カタリナ 大学 渡部 誉也	松山 大学 田下 竜太郎
----------------------	----------------	--------------

ゲーム展開はほぼプラン通り行っていたが最後の得点のところが課題。全員がハードワークし一度は逆転に成功したが、勝ちきれなかったため、トレーニングから細部にこだわって修正したい。

Personal of the Match (対戦相手から1名選出)

9 番 芝 悠斗 [前線のハードワークが得点に結びついていた。] 10 番 豊田 湧 [前線でチャンスをつくり、同点ゴールを決めた。]

前半 46 : 29 後半 48 : 22

※主審計測